

ぐんじとしのりより 皆様に感謝をこめて

～ みどりみらい 2015

時間の流れの速さをしみじみと感じています。

市議会議員選挙が近づき、早朝より駅に立ち、皆様にご挨拶をしながら、過ぎた日のことを考えています。4年前、市議に復活させていただき、この間あつというまに時は流れました。

4年前まで、毎朝、ほぼ同じ時間の電車にのり、サラリーマンとして東京に通勤していました。今、駅に立ち、皆様を見送りながら、駅を走り出す、通勤電車を見ながら、「私にはもう二度とあの時間は戻ってこないのだろうか。私が選んだ道は正しかったのか？」 思い返します。

私は会社員をしながら、市議として2期7年半を「二足のわらじ」をはきながら過ごし、全国を駆け巡り、目の回るような日々を送ってきました。(県議選を目指し、会社を退社しました。)

私が、この街に初めて降り立ったのは、平成7年11月のことでした。

当時、川崎市麻生区の新百合ヶ丘に住んでいた私は会社を変わったばかりで遅くまで残業し、朝早く出勤して行く。朝の通勤時、当時の朝日ジャーナルに「牛車よりも遅い」と書かれた満員電車の小田急線に揺られ、日本橋まで通うという毎日の通勤に疲れ、一念発起して通勤がラクな場所にマンションを買おうと決意しました。

選択肢はいくつかありましたが、最後に残ったのは港北ニュータウンと千葉ニュータウンでした。

私の実家は、東京都足立区にあります。

子どもの頃には、北千住から成田線を使って木下、小林を經由し、成田山新勝寺に初詣。北総開発鉄道は、私が小さい頃に開通し、松戸から白井まで運転され、鉄道少年だった私は千葉ニュータウンに将来の鉄道路線と自分の将来を重ねて、夢を見ていたのは紛れもない事実です。

横浜には憧れがありました。「港北ニュータウン」という街があります。私が住んでいた「新百合ヶ丘」から車で30分。山を切り開き、開発が進んでいました。その街では、あつというまに開発がすすみ、何もなかったところに、街としての機能が驚くほど整備され、地下鉄はもとより、レストラン、大型スーパー、映画館、デパートと、そして「観覧車」まで「出現」しました。

憧れは港町「横浜／桜木町」 みなとみらい地区。

三菱重工があった、かの場所で、横浜博覧会が開催され、終了してから、あつというまにわずか、10年で開発が進み、現在では日本一高いビル（ランドマークタワー）が立っています。翻って、千葉ニュータウン。印西市。私はこの地にかつて私が住んでいた新百合ヶ丘を重ねます。今でこそ新百合ヶ丘の駅前には大規模な商業施設が並び、ホテルもレストランも映画館もありますが、平成7年11月、私が住んでいた当時はやっと駅前に商業施設が立ち並びはじめた時でした。

千葉ニュータウン事業の中核の「千葉ニュータウン中央駅、そして印西牧の原駅。」

東京と成田を結ぶ この地に 横浜／みなとみらい に負けない街をつくっていく。

北総の緑豊かなこの大地に根をはり、必ず変わるこの街に みどりあふれるみらい をつくる。

みどりあふれるみらい、みどりみらい。

こんなあまりにも単純な思いで、私自身の市議会報告のタイトルに「みどりみらい」をつけて皆様に配布を始めました。「みどりみらい」1号は、皆様に推され市議会議員となった1999年5月6日より発行を始め、配布枚数、エリアを広げ、市議会議員として2期約7年半の間に通算225号まで発行し、そして4年前市議に復活させていただき、3rd Seasonを発行させていただきました。

「発行のペースが落ちた。」「届かないこともある。」このようなお叱りをいただくなかで、毎日更新させていただいているブログと共にそれなりに市政の情報を届けさせていただき、皆様と街づくりを行ってきたつもりです。3rd Seasonはこれで終え、厳しい選挙戦に入っていきたいと思っています。この紙面をご覧いただいた皆様に深く感謝をいたします。ありがとうございました。

ぐんじ としのり

(印西市市議会議員 現職(3期) 元 県議会議員(旧印西市選挙区))